

Topic105 グリーン IT

こんにちは、村上です。

今年も残すところ 1 週間ほどになりました。年が明ければ、改正された省エネ法・都条例によって、大規模事業所への温室効果ガス排出量削減の義務付けが始まる新年度はすぐそこです。この対応の一つとして、企業が自社のサーバーをデータセンター事業者に預ける動きがあるそうです。データセンター事業者へ預けた IT 機器使用時の消費電力は、企業の実績に合算しなくてよいからです。

さて、預けられたデータセンターはどう対応するのでしょうか？元来、堅牢性、高信頼性を重視してきたデータセンターですが、環境性能も疎かにできない時代になってきています。床面積当たりエネルギー消費量で比較すると、データセンターは都内のオフィスビルの 3 倍以上にもなるほど、高エネルギー消費施設です⁽¹⁾。データセンターも“グリーン”化への取組みが必須の時代となっています。

1. データセンターを取り巻く事情

” The Green Grid (TGG)” は、データセンターのエネルギー効率化を勧めるために、2007 年に設立された IT 企業の世界的業界団体である。TGG によると、近年データセンターは企業の中核的機能を担うようになり、より処理能力の高い IT 機器を多数所有するようになった。その結果、エネルギーを大量に消費し、電力供給網に多大な負荷をかけていることが問題となっている。データセンターのエネルギー効率化は、エンドユーザーをはじめ政治家や技術者、設備技術者やユーティリティ企業の間で重要な課題となっている⁽²⁾。

TGG は、IT 機器の消費電力測定基準の策定や技術開発によって、データセンターのエネルギー効率化を推進している。TGG のメンバーリストには、IBM、Intel、at&t、BT、The Walt Disney Company、といった世界的大企業が名を連ねる。東京電力、日立、NTT Facilities など、日本企業も多数参加している⁽²⁾。

2. データセンター初の LEED Platinum

2005 年、米国における全データセンターの消費電力は、2000 年の約 2 倍の 450 億 kW/h であった。これは、米国の全消費電力の約 1.2% を占める⁽³⁾。

このような中、IT 機器の効率化による省エネだけでなく、データセンターの建物全体で環境に貢献しようという動きも高まっている。米国では、TGG と USGBC (米国グリーンビルディング協会) と協同し、“グリーン IT” を目指すデータセンター事業者も出てきている⁽³⁾。

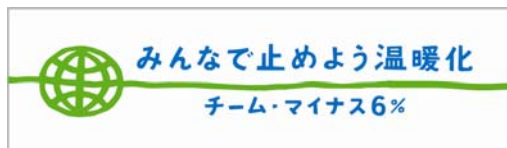
24 時間 365 日サーバーを運転し、かつその排熱を冷却し続けなければならないデータセ

日本には仙台や広島などカキの名産地があるのに何故わざわざニュージーランドから輸入しなければならないのか云々、ニュージーランドから運ばれてくる間に鮮度が落ちているのではないかと云々と、とめどなく語る。さすが、食にこだわる仏人である。

食へのこだわりの薄い英国人と私は、仏人の熱い訴えに論理的かつあっさりとした意見を述べ続け応戦した。しかし、生ガキひとつでよくここまで語るができるものだ。国際交渉の場で、日本が劣勢に立たされることが多い要因の一つを見た思いがした。

バックナンバーはこちらからどうぞ！

「ERSのグリーンビルサイト」:<http://www.brown-green.com/>



イー・アール・エスはチーム・マイナス 6%に参加し

ています。